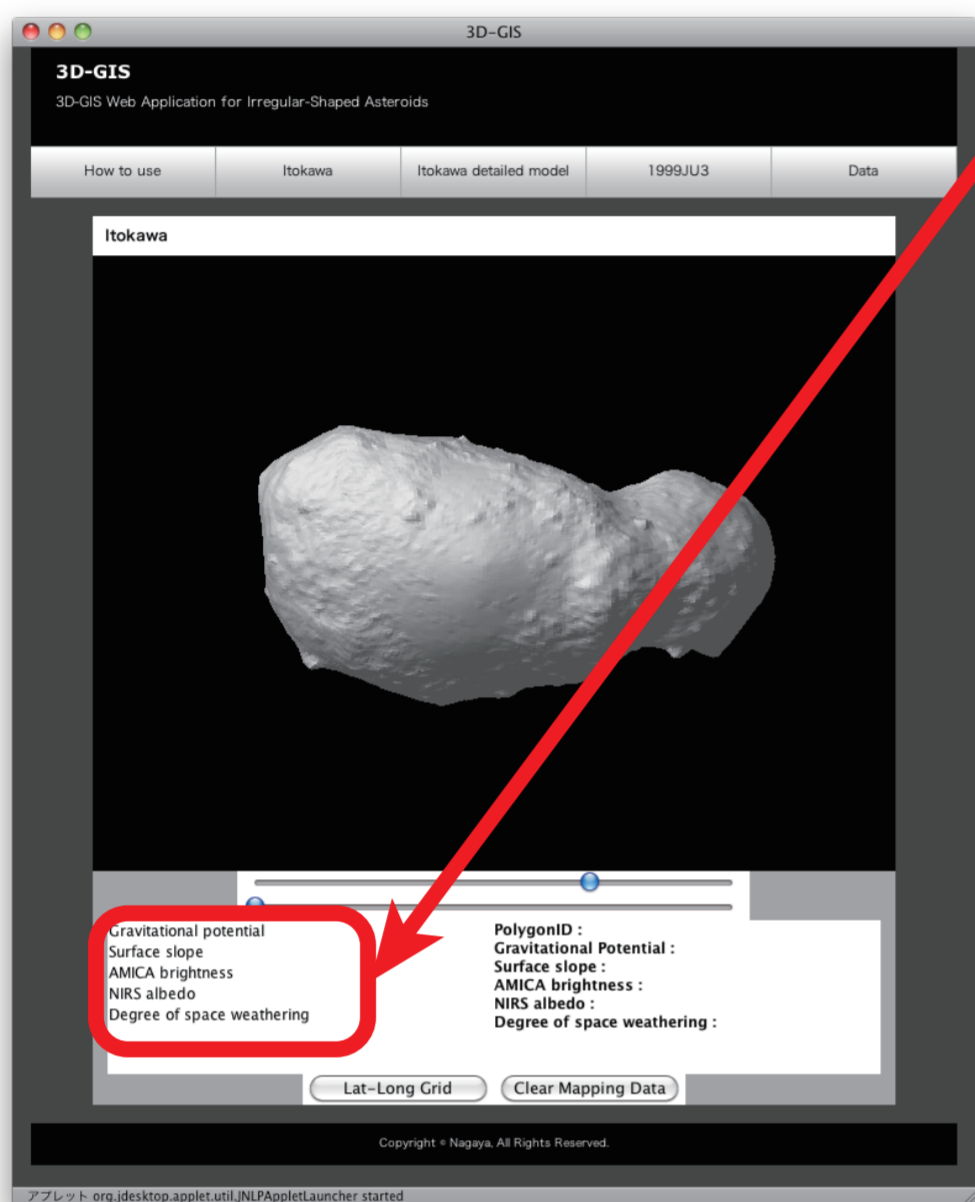


小惑星解析用三次元地理情報システム(3D-GIS)

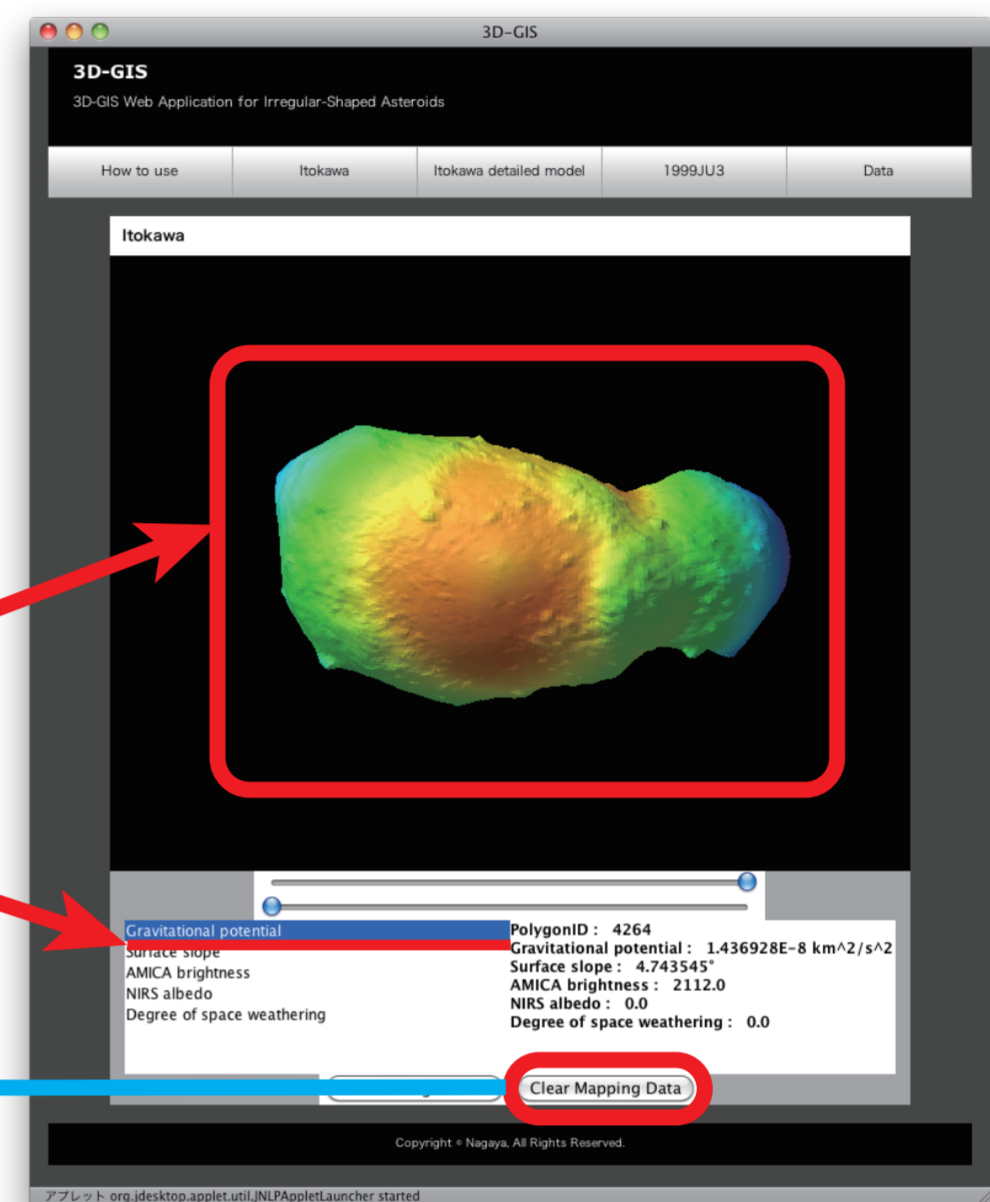
このソフトは、会津大学 ARC-Space/CAIST が開発した、小惑星の探査データを可視化、解析するための三次元地理情報システム(3D-GIS)です。小惑星の形状、表面の物質分布、傾斜などを三次元コンピュータグラフィックスとして表示し、様々な情報を比較しながら解析を行うことができます。
現在、小惑星イトカワのデータでのデモを体験していただけます。

使い方

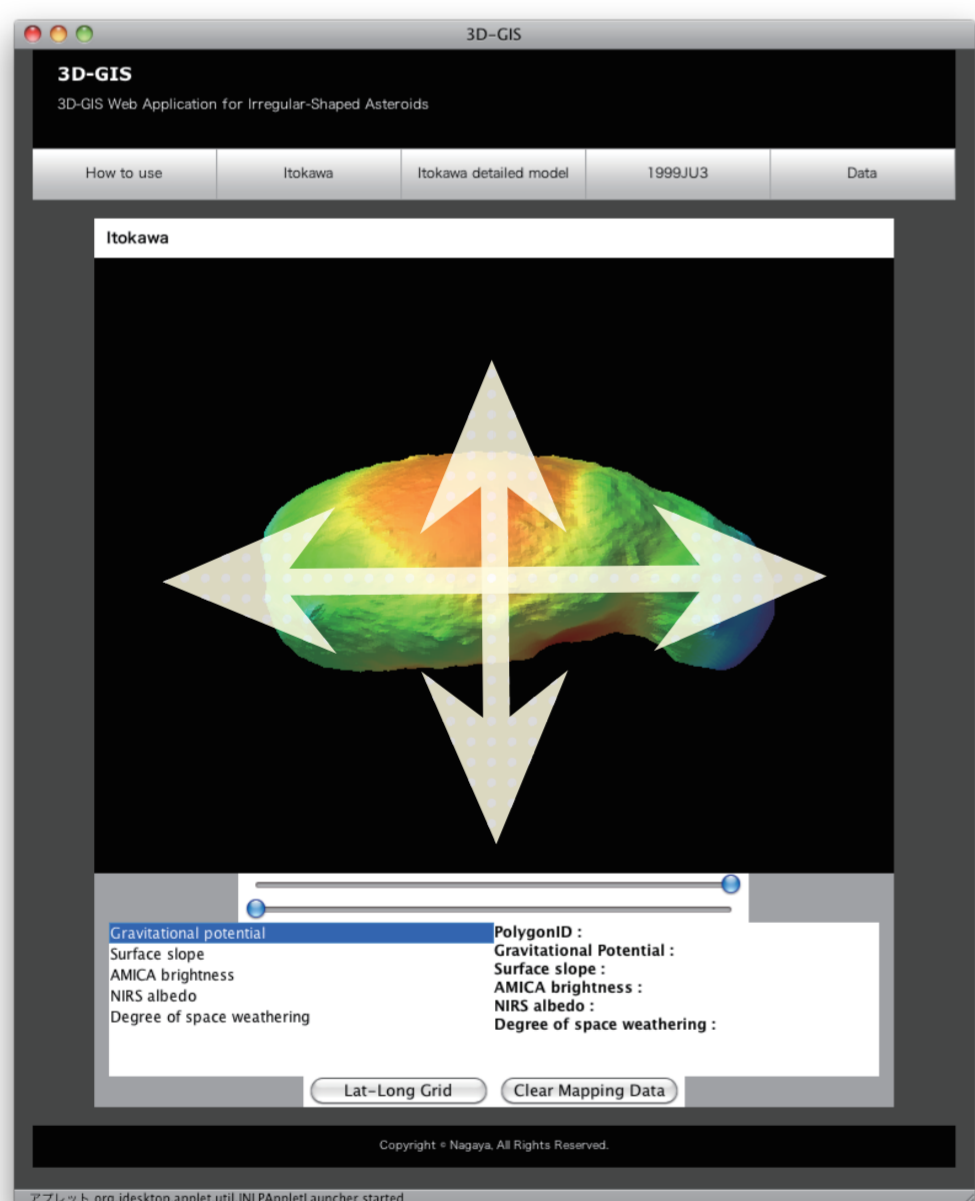


表示データ切り替え
ここに一覧表示されているデータから、小惑星の上に表示させたい情報を切り替えることができます。

重力
小惑星表面での重力の強さの違いがカラー表示されています。重力の強い低地は橙、重力の弱い高地は緑～青です。

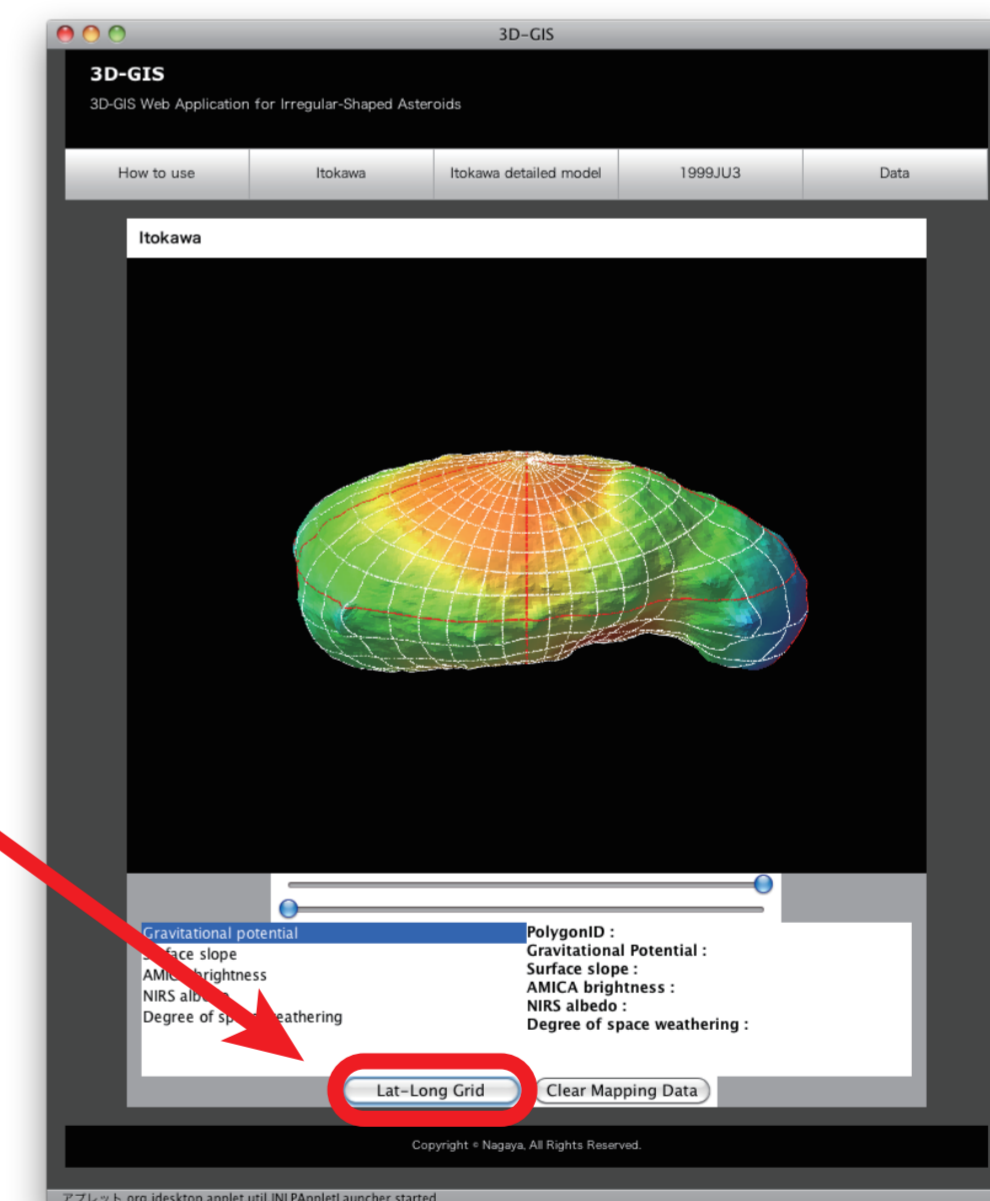


このボタンを押すと元に戻ります。



回転
画面の上でボタンを押したままマウスを上下左右に動かすと、小惑星の向きが変わります。

緯度経度グリッド
このボタンを押すと小惑星表面の緯度経度を示すグリッド線が表示されます。もう一度押すと消えます。



3D-GIS?

GIS (地理情報システム) は、コンピュータ上で地図を保存、表示するシステムです。紙の地図のように「どこに何があるのか」を簡単に知ることができるほか、紙の地図では不可能なさまざまな解析の実施やその結果の可視化を行うことができます。

3D-GIS は平面に表示できない複雑な形状の小惑星を三次元表示して、その上にさまざまな地図情報を載せることができる、新しい GIS です。

表示可能な情報

重力・傾斜

小惑星表面での重力の強さと、地面の傾き

可視光での明るさ

人間の目で感じる光で見た時の小惑星表面の明るさ

赤外線での反射率

赤外線で見つた時の小惑星表面の明るさ

宇宙風化度

赤外線の観測結果を元に調べた、小惑星表面の古さ